

平成27年度事業計画

夢のある建築士会を目指して

長野県建築士会は公益法人制度改革に伴い、6年間の組織を挙げた熱い議論の末、平成23年4月には支部と本会の会計統合を行い、平成25年4月、一般社団法人としてスタートしました。

これは、建築士会を愛する会員のために、真に建築士会活動の発展を願い、今後も活発な活動を展開するための最善の方策を取ったことにほかなりませんが、時代は進み、本年3月の北陸新幹線の金沢まで延伸にも象徴されるように、未来に向かって地方創世や地域のブランド発信力の強化が求められる時代を迎えています。

建築士会活動においても、時代の流れを読み、活発で多彩な活動により情報発信を進める必要があると思いますが、組織の面についても本年度からは公益社団法人を目指した活動をスタートさせ、改めて活動、事業の分析・検討を進めるとともに、再編等組織の強化にも取り組んでいきたいと思っています。

平成27年度の事業計画にあたり、建築士会活動の原点に戻って、夢のある会、たくましい会、信頼される会、楽しい会を目指そうではありませんか。

1 夢のある会

我々の業務を行う上で、情報や知識を受けるアンテナを会員が持ち、更にレベルアップできる仕組みを会の中に創ることが重要です。情報が組織や人を変えます。そこで、本年度は多彩な研修・講習会プログラムを展開し、できるだけ即効性のある情報を迅速に会員や建築士に提供することを目指したいと思っています。

まず歴史的建造物を活用するヘリテージマネージャーの養成講座を開催します。ヘリテージマネージャーとは「地域に眠る歴史的建造物の発掘再評価し、歴史的建造物を地域の財産として環境づくりを行う能力を持った建築士」のことで、講義と演習で60時間に及ぶ充実したカリキュラムを実施したいと思っています。

また、13回目を数えることとなる信州木造塾も、引き続き開催します。

さらに、平成32年度に予定される省エネ義務化に備え、省エネに関する様々な知識情報を習得するための講習会、シンポジウムなどの開催を計画しています。また、希望者が参加できる研究組織の設置も検討しますので、学ぶことにより夢のある情報が発信されると確信しています。

2 楽しい会

人口の減少期を迎え、当会に限ったことではないのですが、会員の減少は会の存続の中で、憂えるべきことです。そこで、今まで以上に建築士会の活動を、支部、本会それぞれに活発化させ、皆がうらやむような、魅力的でタイムリーな活動へと変革させる楽しい会づくりが望まれます。

支部を超えたブロックでの活動も一つの可能性を秘めています。若い会員や年配の会員同士、また、世代を超えた交流も大切ですので、会員同士の結びつきを一層強めるとともに、関ブロ各県建築士会や 大阪府建築士会などとの交流も積極的に進め、国内外への視察研修なども計画したいと思います。

また、建築士会の多様な業種の集まる中で、粹にこだわらない各種研究会、グループを立ち上げるなど会員同士、建築士同士のネットワークづくりを精力的に行うとともに、会員からのニーズに応え、会員を中心とした楽しい会を創っていこうと思います。

3 たくましい会

人口の減少時代となっています。一時は会員数が 4,800 名を超えた建築士会も会員の高齢化と多様化による若者の未加入などにより 2,700 人台まで会員減少が進んでいます。

このような時代、会員からの会費を活動財源とする建築士会への影響は避けて通れませんが、活発な活動を続けるための組織づくりを進め、生き残っていくために、いかに逞しい会にするか建築士会の本当の力が試されています。

そのために、従来から検討を続けている支部の統合などの組織再編について、一步踏み込んだ取り組みをする必要があります。本会でも力を惜しまず積極的な対応をして、組織再編を支援していきたいと思います。

4 信頼される会

昨年 1 1 月 2 2 日発生の神城断層地震の際、応急危険度判定、住宅相談、罹災証明二次調査などの災害支援活動に延 344 名の建築士会員が従事しました。このことにより各方面から感謝され、建築士会の信頼度は格段に上がりましたが、今後は緊急時の対応を分析しさらに迅速で円滑な活動ができるように改善するとともに、防災についての検討、研究についても力を入れることが重要になってきています。そこで、本年度は「社会貢献委員会」を分化させ、一方を災害支援、防災対策を担当する「防災委員会」として出発させたいと思います。

「社会貢献委員会」は、建築士としての社会的責任を果たすべき課題に取り組む組織と位置づけます。長野県内でのまちづくりへの参加 空き家問題等 研究成果を発表し、実践することで信頼される会にしたいと思います。また、地方創世の時代、各方面でまちづくりへの提案が期待されていますが、まちづくりは建築士の得意分野ですので、まちづくり等の社会貢献活動を発表する機会をもち、広く情報を発信したいと思います。

私たち 建築士会の目指す方向はやはり「社会貢献」ではないでしょうか。組織が内向きに運営されていくと、誰にも認められない会となってしまいます。建築士としての職責をベースとした上で、+α の部分をボランティアとして活動する、建築士会はそのステージとして、情報を発信し、その良さを実感できる組織としていきたいと思います。

皆さん、夢のある建築士会を目指して、活動をさらに広げていこうではありませんか。

■重点事業

- 1 公益社団法人を目指した検討と公益活動の推進（社会貢献・景観整備機構）
- 2 災害支援体制の対応・強化・ネットワーク 防災の研究
- 3 支部のあり方研究と組織統合の検討・推進
- 4 多彩な研修活動の企画と実施（ヘリテナーネージャー養成講座・信州木造塾・各種講習会）
- 5 活気ある建築士会活動の発信
（建築士フォーラム・青年女性建築士のつどい・社会貢献発表）
- 6 多様な交流活動の推進（大阪府建築士会、ブロック活動）

■委員会事業計画

○総務・情報委員会

- 1.定款諸規定の整備
- 2.第 65 回通常総会の企画と実施
- 3.「建築士フォーラム 2015」の企画、総括運営
- 4.建築士フォーラムのあり方検討
- 5.会員の福利厚生事業（第 21 回ゴルフ大会）の実施
- 6.建築士新規登録者セミナー（建築士免許交付式）の企画、実施
- 7.会報による会員への情報伝達の充実
会報（機関紙）の発行 12 回
- 8.ホームページ・メールマガジン等、効果的な会員への周知方法の検討
- 9.大阪府建築士会との交流

○建築活動委員会

- 1.建築士の技術・資質向上に関する事業の実施
- 2.支部における建築活動との連携
- 3.「建築士フォーラム 2015」の企画、実施
- 4.建学会の実施
- 5.省エネ・低炭素等についての知識、技術の普及 省エネ研究会等による研究支援

○社会貢献委員会

- 1.社会貢献活動の研究、調査と提言
- 2.社会貢献活動発表会の企画・実施
- 3.「建築士フォーラム 2015」の企画、実施
- 4.建築相談の検討・実施
- 5.支部における社会貢献活動の支援、連携促進

○防災委員会

- 1.災害緊急支援体制の整備
- 2.地震災害時の初動行動指針の周知徹底
- 3.応急危険度判定士の育成
- 4.支部災害応援協定の内容検討と対応
- 5.災害コーディネーターの育成
- 6.「被災認定調査」講習会の実施
- 7.オクレンジャーによる緊急連絡網の整備推進
- 8.災害時住宅相談の企画・実施
- 9.防災についての研究

○青年・女性委員会

- 1.「第28回青年・女性建築士の集い」の企画、実施
- 2.青年・女性会員の自己研鑽の推進
- 3.「建築士フォーラム2015」の企画・実施
- 4.「第8回信州環境ECOコンテスト」の企画、実施
- 5.建築士ネットワークの構築支援（関ブロ・全建女・大阪府建築士会）
- 6.災害復興住宅への協力
- 7.信州型二地域居住住宅への協力
- 8.学校への建築士派遣活動・共同活動の啓蒙・建築士会PR
- 9.青年・女性会員による新規会員・会員への交流増強活性化策・広報活動の推進
- 10.建築甲子園への参加

○資格委員会

- 1.建築士試験の管理・実施
- 2.「定期講習」の実施
- 3.建築士法22条4に基づく「建築士会技術研修」の企画、実施
- 3.指定登録事務の管理

○会館運営特別委員会

- 1.会館の維持管理
- 2.会館の運営
- 3.耐震補強計画の策定
- 4.各種改修計画の策定

○CPD制度・専攻建築士制度運営特別委員会

- 1.継続能力開発（C P D）制度及び専攻建築士制度の運営・提言
- 2.C P Dの会員加入に伴い、周知徹底とプロバイダーの加入促進
- 3.専攻建築士制度の周知と加入促進
- 4.会員外登録者を対象とした講習会開催の促進
- 5.省エネ技術講習会の開催支援

○信州木造塾特別委員会

- 1.VII期（第13回）平成27年度信州木造塾実務編の企画実施
- 2.中大規模建築物の普及に向けた講習会の開催

○法人推進特別委員会

- 1.法人体制整備の推進
- 2.組織合理化の検討
- 3.公益社団法人を想定した移行ロードマップの研究

○会員増強プロジェクトチーム

- 1.会員増強策の検討、実施
- 2.建築士会サポート店制度の推進
- 3.高齢会員への魅力ある活動の検討

○景観整備機構

- 1.景観行政団体からの委託事業への協力
- 2.ヘリテージマネージャー養成講座の実施
- 3.「建築士フォーラム2015」の企画・実施
- 4.景観整備機構の指定申請
- 5.景観講習会、研修会の実施
- 6.景観整備機構の広報活動

○地域貢献活動センター

- 1.地域貢献活動センターの運営
- 2.地域の貢献活動に対する助成